



MIDLAND 様

2018 N-ONE OWNER'S CUP Rd.9

レースレポート

#127 MLヌヴォラーリET N-ONE

ドライバー 小林天翔

N-ONE
OWNER'S CUP
MOTUL

FLAG

**SEGA-SAMMY
GROUP**

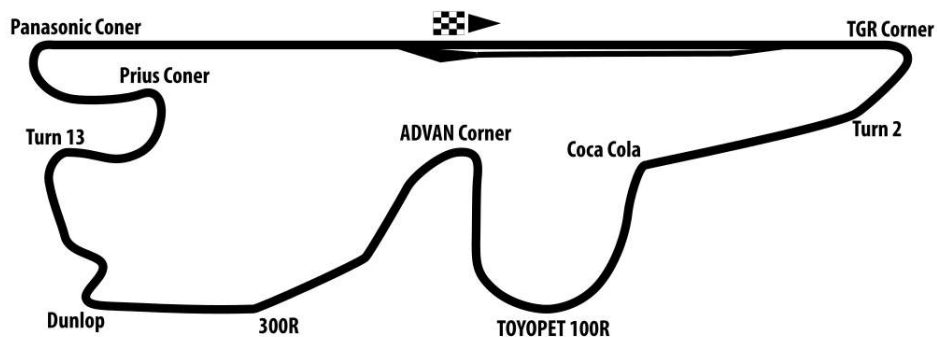
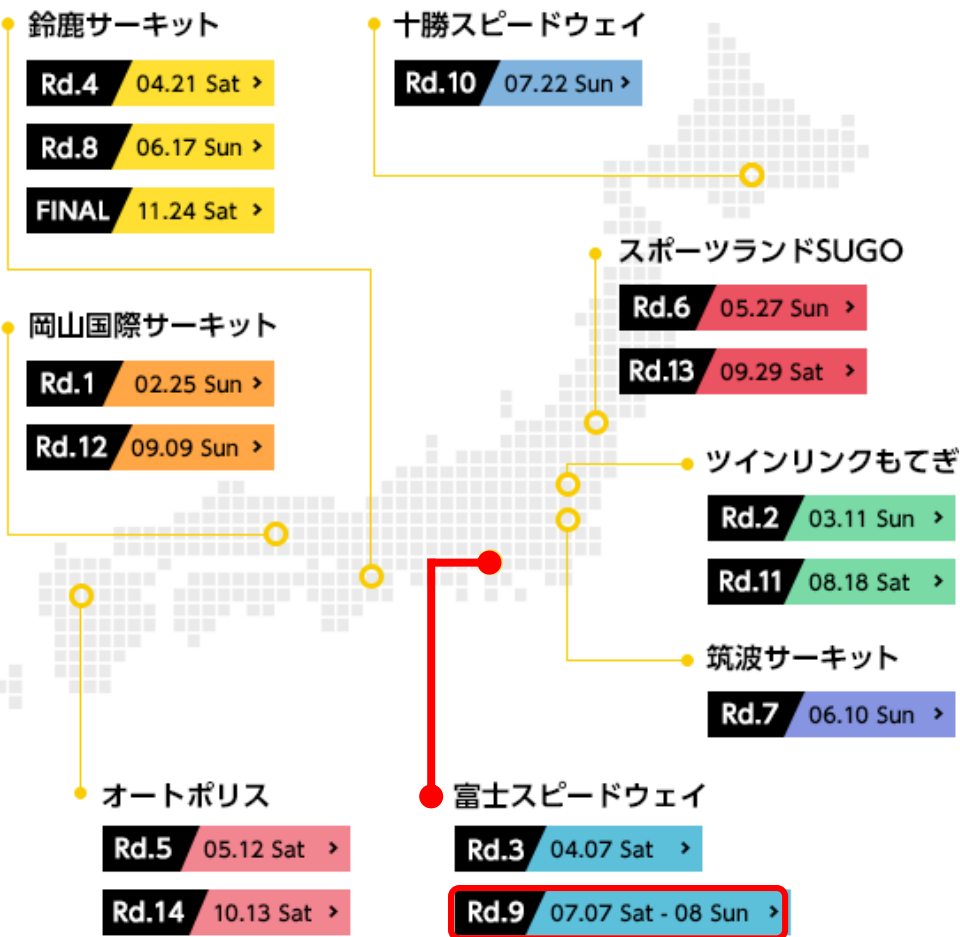


2018 N-ONE OWNER'S CUP RACE REPORT



4月の鈴鹿ラウンドから約3ヵ月。もともと参戦は予定していなかった夏の富士戦ですが、クラッシュにより新しくなった車両での戦闘力を確かめるため、少しでもニューマシンでのマイレージを稼ぐため急遽参戦することとなりました。

富士戦の約2週間前に設けられたモテギでの公開練習ではトップから3秒落ちと大きな課題を残していました。富士戦までの間に馴らしを行い、3000回転付近の重たさが少しずつ取れてきていたものの、5000回転までのフィーリングが悪く不安材料を抱えたままの参戦となりました。



2018 N-ONE OWNER'S CUP RACE REPORT

公開練習


マシンチェックに専念するが上位との差はまだ大きいと実感

全国的に激しい雨となったこの週末。富士も例外ではなく朝から雨が降り続き完全なウェットコンディションの中公開練習が行われた。

予選用のタイヤを作ることと、今回より投入したCVTフルードのフィーリングを確かめながら少しずつペースを上げていった。

2本目では若干ドライ路面となる箇所があり旋回スピードを上げた状態でのマシンバランスも確認することが出来た。コーナー進入時のアクセルオフやアクセルコントロールだけの旋回時におけるCVTの滑り方がフィーリングに合わず、結果的に立ち上がりのバランスを崩してしまうことが多発。そのため急遽、CVTフルードを戻し予選に備えた。

N-ONE


N-ONE 専有走行 2018 / 7 / 6 16:29
 総合結果表 Weather :Rain & Cloudy Track :Wet
 Fuji Speedway(4,563m)

Pos	No	Name	Car	Best Time	Lap	Gap	Ave. km/h
1	390	坂井 拓斗	HCM☆T&T☆N-ONE	2'34.782	11 / 12		106.129
2	200	西郷 倫規	カズ東京中央200N-ONE	2'35.224	14 / 15	0.442	105.826
3	123	小山 美規	チームカズマシンN-ONE	2'35.266	13 / 13	0.584	105.730
4	01		HORS	2'35.375	10 / 10	0.593	105.724
5	34	石坂 唯基	YH7☆N-ONE	2'35.443	12 / 13	0.661	105.677
6	36	阿久津 敏寿	DL☆☆N-ONE	2'35.729	14 / 15	0.947	105.483
7	111	野島 祥久	HD N-ONE	2'35.998	16 / 16	1.216	105.201
8	97	松本 拓也	N-ONE Modulo-X	2'36.109	15 / 16	1.327	105.226
9	561	山元 龍輝	N-ONE HGJ-S 1st	2'36.294	14 / 16	1.512	105.102
10	17	永田 颯	デイチ☆N-ONE	2'36.326	15 / 15	1.544	105.080
11	690	橋本 陵	BS☆☆N-ONE	2'36.956	15 / 17	2.174	104.659
12	373	堂田 祐貴	HC茨城南N-ONE	2'37.555	14 / 15	2.773	104.261
13	76	松本 浩典	SFM☆N-ONE	2'37.619	10 / 10	2.837	104.218
14	137	若林 勇成	BS☆☆N-ONE	2'37.786	13 / 15	3.004	104.108
15	127	小林 天翔	ML☆☆N-ONE	2'38.075	14 / 16	3.293	103.918
16	482	東原 和徳	VOLTRON N-ONE	2'38.114	15 / 16	3.332	103.892
17	5	黒須 聡一	日建業種小原商店 N-ONE	2'38.290	15 / 16	3.508	103.777
18	324	野口 敦人	324 N-ONE	2'38.421	14 / 16	3.639	103.691
19	72	沼田 勝義	72Racing N-ONE	2'38.803	15 / 15	4.021	103.441
20	48	関口 美弘	TIR☆DXL速心☆N-ONE	2'38.817	16 / 16	4.035	103.432
21	221	佐野 貴彦	カブ富士安心号N-ONE	2'38.984	12 / 12	4.202	103.324
22	723	勝野 弘幸	通動快速☆N-ONE	2'39.055	14 / 15	4.273	103.277
23	39	真弓 悠希	HCM☆USERS☆N-ONE	2'39.077	15 / 16	4.295	103.263
24	58	水野 穂也	☆おわり☆N-ONE	2'39.253	14 / 15	4.471	103.149
25	710	岡村 英莉	SPeTeC-NONEあみたん機	2'39.396	13 / 13	4.614	103.057
26	719	谷津倉 宏亮	ロードレーシングN-ONE	2'40.225	14 / 14	5.443	102.523
27	223	植松 洋樹	カブ富士カブN-ONE	2'40.394	14 / 16	5.612	102.415
28	7	石塚 敬	25R☆DXL N-ONE	2'41.303	14 / 14	6.521	101.838
29	140	松葉フイ太郎	博多まっぴろ☆N-ONE	2'41.866	14 / 14	6.884	101.609
30	66	桐畑 恒治	CG N-ONE	2'43.501	11 / 16	8.719	100.469
31	222	前嶋 文浩	カブ富士自立号N-ONE	2'43.724	15 / 15	8.942	100.332
32	40	山口 翔次	カズ大博玉北☆N-ONE	2'45.055	15 / 15	10.273	99.523
33	60	八木 将倫	TACR☆N-ONE				



2018 N-ONE OWNER'S CUP RACE REPORT

予選タイムアタック

メカニカルトラブルにより予選は最後方に・・・

朝から不安定な天候で、予選開始直前にドライからウェットコンディションへと変わっていった。ドライを見越して浅溝タイヤを選択していたため、非常に難しい予選になることが想定される。

なるべく前車の通った水の少ない状態で走行をするため、短い間隔で走行を開始した。しかし、走行開始すぐの100Rで今までになくリアがスライドし、フロントもグリップせずスピンしかけてしまう。その後も各コーナーでブレーキが効かず、左フロントのグリップが抜ける事が多発。その後すぐ127号車にオレンジボールが提示され緊急ピットイン。原因はCVTフルードのオイル漏れによるもので左両輪とブレーキにかかってしまっていた。終了後、ブレーキ周りのチェックとCVTフルードの補充、動作チェックを行い決勝はどうやって追いつけるかに気持ちを切り替えた。

Fuji Speedway(4,563m)

Pos	No	Name	Car	Best Time	Lap	Gap	Ave. km/h
1	200	西部 倫規	カス 東京中央200N-ONE	2'44.140	3/17		100.078
*1	2	123 小山 美媛	チームンダマシN-ONE	2'45.011	2/17	0.871 0.871	99.550
3	39	真弓 悠浩	HCM☆USERS☆N-ONE	2'45.786	2/8	1.646 0.775	99.084
4	137	若林 勇成	BSYTHI☆N-ONE	2'46.085	2/8	1.945 0.299	98.906
5	390	坂井 征斗	HCM☆T&T☆N-ONE	2'46.267	4/17	2.127 0.182	98.798
6	97	松本 拓也	N-ONE Modulo-X	2'46.594	2/6	2.454 0.327	98.604
7	17	永田 郷	テトナリア☆N-ONE	2'46.977	3/17	2.837 0.383	98.378
8	690	橋本 竣	BS☆タマシ☆N-ONE	2'47.261	2/8	3.121 0.284	98.211
9	72	沼田 勝義	72Racing N-ONE	2'47.555	2/8	3.415 0.055	98.038
10	80	八木 莉織	TACACI☆N-ONE	2'47.682	7/17	3.542 0.127	97.964
11	34	石塚 雄基	YH77☆N-ONE	2'47.809	3/17	3.669 0.127	97.890
12	666	菅木 良介	CRTA.IDI.N-ONE	2'47.820	3/17	3.680 0.011	97.883
13	111	野島 祥久	HD N-ONE	2'47.901	5/16	3.761 0.081	97.836
14	373	金田 祐貴	HC茨城南N-ONE	2'47.910	2/16	3.770 0.009	97.831
15	551	山元 悠輔	N-ONE HGJ-S 1st	2'47.910	2/16	3.770 0.467	97.560
16	75	松本 悠典	SPM☆N-ONE	2'48.377	2/17	4.237 0.213	97.436
17	850	佐藤 清	HYOFU☆N-ONE	2'48.590	2/17	4.450 0.213	97.339
18	221	佐野 貴彦	カワ富士安心☆N-ONE	2'48.758	4/17	4.618 0.168	97.313
19	48	関口 英弘	TIR☆DXL速心☆N-ONE	2'48.803	4/17	4.663 0.045	97.313
20	5	黒塚 聡一	日建重機☆小原商店 N-ONE	2'49.692	2/17	5.552 0.889	96.804
21	223	植松 洋樹	カワ富士よかつた号N-ONE	2'49.854	4/17	5.714 0.162	96.711
22	723	勝野 弘幸	運動快進☆N-ONE	2'50.009	5/17	5.869 0.155	96.603
23	36	阿久津 敏寿	DL☆N-ONE	2'50.106	6/17	5.966 0.097	96.568
24	324	野口 牧人	324 N-ONE	2'50.113	7/17	5.973 0.007	96.564
25	58	水野 悠也	ooりかみ☆N-ONE	2'50.380	4/16	6.240 0.267	96.413
26	482	柴原 和彦	VOLTAGE N-ONE	2'50.452	2/17	6.312 0.072	96.372
27	129	及川 利紀	DXL☆NYG☆N-ONE	2'50.629	4/17	6.489 0.177	96.272
28	7	石塚 敏	25R☆DXL N-ONE	2'50.662	3/17	6.522 0.039	96.253
29	40	山口 翔太	ネクス☆埼玉北☆N-ONE	2'50.921	4/17	6.781 0.259	96.108
30	27	手塚 寛史	HC野崎MP4☆N-ONE	2'51.203	7/17	7.063 0.282	95.949
31	710	岡村 英莉	SP☆N-ONEあみたん娘	2'53.393	4/17	9.253 2.190	94.737
32	813	田中 崇一	ワタ部N-ONE	2'53.490	4/17	9.800 0.547	94.439
33	719	谷津倉 宏充	コードレーン☆N-ONE	2'55.630	2/17	11.490 1.690	93.531
34	140	松葉アヲ太郎	博多まつばアヲ☆N-ONE	2'55.841	2/17	11.701 0.211	93.418
35	222	前嶋 文浩	カワ富士自立号N-ONE	2'56.505	3/17	12.365 0.664	93.067
36	68	柳原 健治	CG N-ONE	2'57.975	6/17	13.835 1.470	92.298
37	127	小林 天翔	ML☆N-ONE	3'09.090	2/5	24.950 11.115	86.873

***** 以上予選通過 (3'34.472 - 130%) *****



2018 N-ONE OWNER'S CUP RACE REPORT

決勝

クリーンな走りで16台を抜き最後尾から20位フィニッシュを果たす

決勝はレースウィークの中で一番の晴天となり30℃近くまで気温は一気に上昇、決勝開始のお昼過ぎにかけて路面温度も徐々に上がっていった。

最後列ではシグナルが見えず、スタートでは若干出遅れるが、1コーナーまでの間に3台をパス。その後、コカ・コーラでさらに2台抜きにかかるが押し出されてしまい、復帰した時には元のポジションへ戻ってしまう。

しかし、冷静に前車へ追いつくと1周に2台以上のペースで追い上げていく。21番手になったところで前車との間は3秒以上空いていたが、マシンの調子は好調で前方グループのバトルに乗じて20番手へポジションアップ。過去最高となる16台抜きで20位フィニッシュとなった。



2018 N-ONE OWNER'S CUP RACE REPORT

今大会はN-ONEレースに参戦してから一番余裕のないレースになってしまいました。新しい車両・新しいパーツ・予選でのトラブル・難しいコンディションなど多くの要因が重なり、自分らしいレースがレースウィーク全体を通して出来ていなかったと感じています。全てはドライバーの準備不足が原因であり、周りの変化に対して追いついていませんでした。

唯一、決勝での冷静さはこれまでの経験が十分に生きた結果だと思います。後方の密集した集団の中で他車と接触することなく、クリーンな形でこれだけの台数をオーバーテイク出来たのは今後につながるいい経験となりました。決勝中のタイムもトップ10に入っており、少しずつではありますがマシンの調子が上がってきていることを実感できたのも、夏のモチギに向け良い収穫になりました。

今回新規車両作製にあたりサポート頂きましたヌヴォラーリ様を始め、スポンサーの皆さま本当にありがとうございました。

次戦参戦はツインリンクもてぎ2&4レースで行われる第11戦になります。ご支援・ご声援のほどよろしくお願い申し上げます。

